

香深井小学校 健康・体力向上プラン

【学校教育目標】

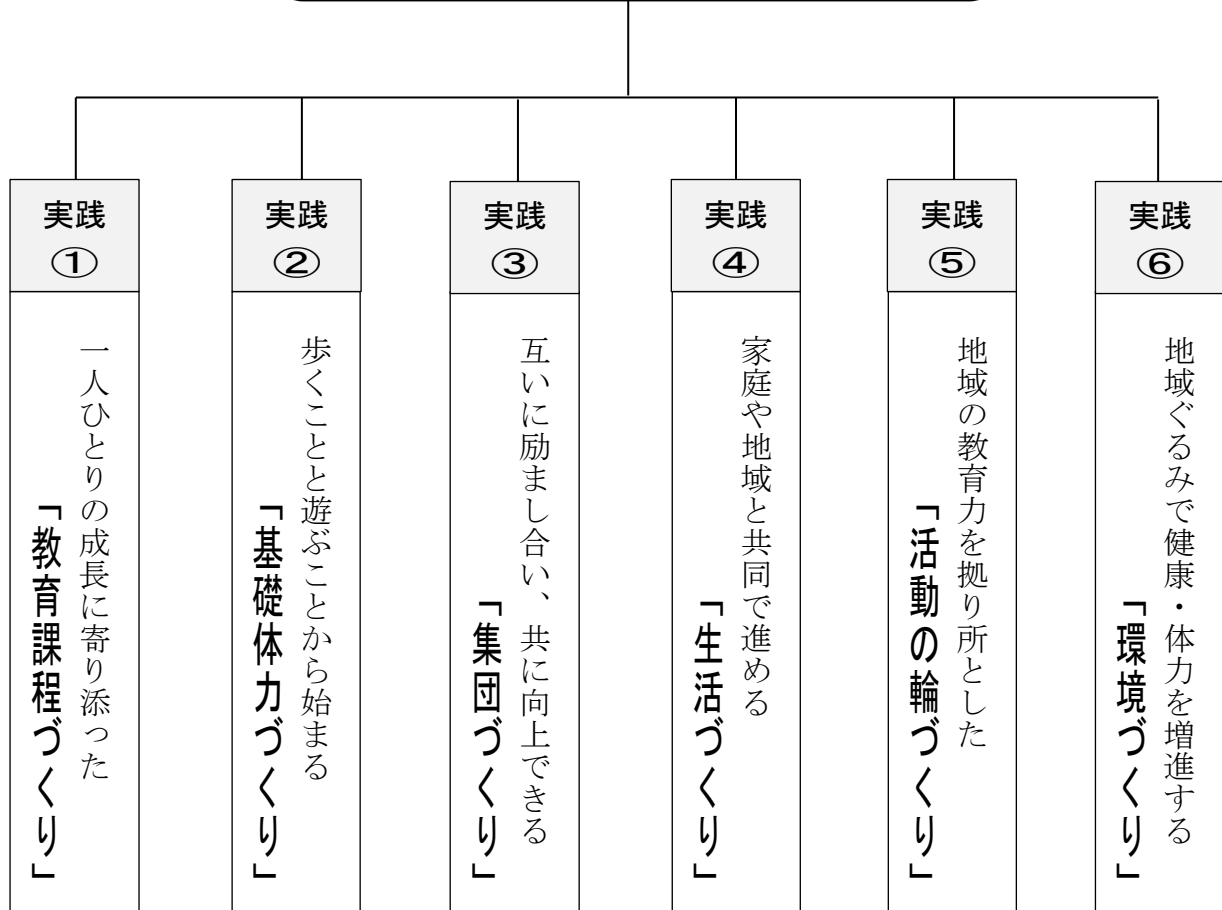
- げんきな子 ～健康な体をつくり、きたえる子
- あかるい子 ～やさしい心を持ち、善悪を判断できる子
- かんがえる子 ～意欲を持ち、学力を身につける子
- がんばる子 ～進んで働き、友だちと協力する子

【児童に見られる健康・体力の状況】

- ◇体を動かすことを好み、季節を問わず、よく外遊びをする。
- ◇スポーツ少年団に参加する児童が多く、休日にも積極的に運動している。
- ◇基礎体力があり、学校を休むことも少ない。
- ◇目標達成に向け、粘り強く練習を重ねることができる。
- ◇TV やゲームへの依存度が低く、生活リズムが確立されている子が多い。

【指導で目指す3つの到達点】

1. 全ての子に基本的な生活習慣を確立させる。
2. 心身の調和のとれた発達を引き出す。
3. 体を動かす楽しさや意義を理解させる。



実践①	一人ひとりの成長に寄り添った「 教育課程づくり 」
個の実態に注目し、適切な指導・支援を通して心身の成長を図る。	
●「生活リズムしらべ」による児童一人ひとりの生活の状況の把握 ●「健康診断」や「教育相談」を通しての、児童の心身の成長への指導・支援 ●小学校から高校までを貫く指導計画に基づく「性教育」の実践 ●保育所から中学校までを貫く指導計画に基づく「食育」の実践 ●児童一人ひとりの実態に則した「支援計画」の作成と活用	

実践②	歩くことと遊ぶことから始まる「 基礎体力づくり 」
毎日の生活習慣から、丈夫な体づくりを目指す。	
●万歩計を活用した「歩数チェック」と個別の生活指導 ●独自の帰宅時間の設定と外遊びの奨励 ●スノーシュー等を活用した冬期間の体力づくり	

実践③	互いに励まし合い、共に向上できる「 集団づくり 」
全校で取り組み、仲間との励まし合いの中で体力向上を目指す。	
●全校での「朝なわとび」「放課後マラソン」「一輪車」の継続 ●発表会や相互評価を取り入れた全校体育の実践 ●年齢や体力の差を超え安心してのびのびと体を動かせる「遊びタイム」の継続 ●「どさん子元気アップチャレンジ」への全校での参加	

実践④	家庭や地域と共同で進める「 生活づくり 」
家庭・地域の協力のもとに生活リズムの維持や健康増進に努める。	
●「早寝・早起き・朝ごはん」の啓蒙と、家庭と共同での生活リズムの維持 ●家庭訪問や各種懇談、日常の連携を通じた子育て支援 ●家庭での生活指導や健康づくりを学び合うPTA活動づくり	

実践⑤	地域の教育力を拠り所とした「 活動の輪づくり 」
地域と共同で活動の場を維持し、頑張る子どもたちへの応援の輪を広げる。	
●各種スポーツ少年団への参加と、活動に際しての協力 ●「フラワーマラソン」や野球、フットサル、剣道、スキーの大会への参加 ●町内小学校が集まっての「陸上記録会」の開催 ●「香深井FC後援会」を組織しての、児童の指導・支援	

実践⑥	地域ぐるみで健康・体力を増進する「 環境づくり 」
学校・家庭・地域が力を合わせ、健康な人であふれる町づくりを進める。	
●各種スポーツ団体への学校施設の積極的な開放 ●町の施設の積極的な活用や、スポーツ振興への協力	